



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノザワ

コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4112

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,166	7.7	1,210	31.1	1,162	19.8	808	28.1
26年3月期第2四半期	9,443	14.7	923	148.9	970	141.4	631	169.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 827百万円 (△11.8%) 26年3月期第2四半期 937百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	34.90	—
26年3月期第2四半期	27.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第2四半期	23,101	—	11,281	—	46.1	466.92
26年3月期	23,450	—	10,825	—	43.2	433.86

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,651百万円 26年3月期 10,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.00	7.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	1.5	2,420	10.3	2,360	5.8	1,610	87.4	69.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	24,150,000 株	26年3月期	24,150,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	1,336,747 株	26年3月期	820,411 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	23,181,784 株	26年3月期2Q	23,334,020 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、企業業績及び雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。建築材料業界におきましては、建設業者不足及び建設費高騰による建設計画の延期・中止等により厳しい経営環境が続いているなか、公共投資・民間設備投資は堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」の企業理念のもと、環境負荷低減、施工現場省力化、高付加価値商品等、顧客ニーズに対応した商品群の拡充を図ってまいりました。

押出成形セメント板「アスロック」の新たなデザインとして、ヒートアイランド対策に寄与する「日射反射機能」を備えたデザインパネル「レフスカイミニ」を発売。工法においては、高い止水性能を有する2次防水工法「ニューセフティ縦張り工法」のラインナップに、現場作業の省力化に加え施工現場環境の改善が可能となる「ノンスリットタイプ」を追加しました。また、平成26年4月に販売を開始した技能工不足・工期遅延解消に貢献できる業界初の省力化工法「アスロックLS工法(Labor Saving工法)」は、成約件数21件と施工現場での作業省力化に高い評価を頂いております。さらに、平成25年7月発売の「グリッドデザインシリーズ」は、機能・デザイン性及び新デザイン構築に関わる経済性が評価され、当社グループにおいて2商品目となる「2014年度グッドデザイン賞」を受賞しました。今後も顧客ニーズに対応した新デザインを定期的に拡充してまいります。

販売部門では、これらの豊富な商品ラインナップにより、設計段階から提案営業を実施し、商談数量を増やすとともに、デザイン・機能・コストに対して高い評価を頂き、一般建築向け「アスロック」の販売数量を伸ばしました。生産部門では、受注数量の増加に対応するため、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動により、生産性を高めるとともに、コスト削減に努めました。管理部門では、NNPS改善活動の手法により業務効率の向上を図るとともに、有利子負債圧縮、財務体質改善に取り組みました。海外事業では、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」において、顧客ニーズに応えた新デザインパネルの製造を開始するとともに、生産性の向上に努めてまいりました。また、「野澤貿易(上海)有限公司」では、大手建築設計院及び建築主へのPR活動に加え、瀋陽地区において「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」と連携し営業を展開、受注数量拡大に取り組みました。

これらの結果、品種別売上高につきましては、押出成形セメント製品関連では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は66億74百万円(前年同期比16.2%増加)、住宅用軽量外壁材は11億71百万円(前年同期比14.0%減少)となり、押出成形セメント製品関連合計では78億46百万円(前年同期比10.5%増加)となりましたが、耐火被覆等は5億77百万円(前年同期比5.8%減少)、スレート関連は4億57百万円(前年同期比15.0%減少)となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億66百万円(前年同期比7.7%増加)となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上、製造原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、営業利益は12億10百万円(前年同期比31.1%増加)、経常利益は11億62百万円(前年同期比19.8%増加)、四半期純利益は8億8百万円(前年同期比28.1%増加)となり、第2四半期連結累計期間における営業利益・経常利益・四半期純利益は過去最高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ商品及び製品が84百万円、未成工事支出金が76百万円増加したものの、現金及び預金が3億12百万円減少したこと等により90億32百万円(前連結会計年度末と比較して1億33百万円減少)となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が時価の上昇に伴い1億70百万円増加したものの、有形固定資産が減価償却等により1億32百万円減少したこと等から、140億68百万円(前連結会計年度末と比較して2億16百万円減少)となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3億49百万円減少し231億1百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が2億16百万円増加したものの、未払法人税等が3億2百万円減少したこと等から、60億70百万円(前連結会計年度末と比較して75百万円減少)となりました。固定負債の残高は、長期借入金が前連結会計年度末に比べ6億50百万円減少したこと等から、57億48百万円(前連結会計年度末と比較して7億30百万円減少)となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ8億6百万円減少し118億19百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、利益剰余金が6億45百万円増加したこと等から、112億81百万円(前連結会計年度末と比較して4億56百万円増加)となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は32億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億12百万円減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は9億16百万円(前年同期は4億36百万円の増加)となりました。これは法人税等の支払額7億76百万円や、たな卸資産の増加額1億87百万円等の資金の減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益11億50百万円や、仕入債務の増加額2億84百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は34百万円(前年同期は31百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出1億91百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は11億82百万円(前年同期は8億82百万円の減少)となりました。これは長期借入金の返済による支出7億90百万円や親会社による配当金の支払額1億62百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、景気の先行きは今後も緩やかな回復基調が続くものの、円安による輸入価格の上昇・電力料金及び物流コストの高止まりに加え、住宅市場では消費税増税前の駆け込み需要の反動減等、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは、体質強化・収益拡大・飛躍成長の各戦略の確実な遂行とお客様満足度向上により、更なる企業発展を推進しております。販売部門では、「アスロックLS工法」、「工場プレ加工」及び新デザイン「ランディルB」を追加ラインナップした「グリッドデザインシリーズ」の販売に注力、施工の省力化・工期短縮への提案を行ってまいります。ボードにつきましては、住宅市場に対して新たな用途開拓を行い、商品開発へと繋げてまいります。

生産部門では、原材料及び電力料金等のコストアップに対して、NNPS改善活動により、品質の向上並びに受注から納入までのリードタイム短縮に努め、生産性の更なる向上を図り、収益確保に繋げていきます。開発部門では、顧客が求める品質・性能・コストを追求し、環境負荷低減及び施工の省力化に貢献できる商品群を拡充してまいります。管理部門では、システム構築・改善並びに業務効率の向上を図り、トータルコスト削減に取り組むとともに、有利子負債の圧縮を進め、財務体質を改善し、経営基盤の強化を図ってまいります。マインケミカル事業では、積雪地域の農作業省力化及びコストダウンが可能となる融雪兼用肥料「マインマグCb」を発売しました。また、土壌・生育診断及び作物分析等の科学的手法により肥料使用の効果を実証、顧客ニーズに基づいた提案営業を行い拡販に繋げてまいります。海外事業では、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」において、品質の向上・コスト削減に努めるとともに、新デザインパネルの開発を進め、顧客ニーズに応えてまいります。「野澤貿易(上海)有限公司」において、大手建築設計院及び建築主へのPR活動に加え、北京の販売拠点を瀋陽へ移転、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」と一体となり、瀋陽地区での受注数量拡大へ取り組んでまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高205億円、営業利益24億20百万円、経常利益23億60百万円、当期純利益16億10百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、計算に用いる割引率を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

なお、この変更に伴う期首の利益剰余金並びに損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,545,930	3,233,744
受取手形及び売掛金	3,802,259	3,811,139
商品及び製品	554,610	639,575
原材料及び貯蔵品	121,216	148,195
未成工事支出金	114,382	191,037
その他	1,030,377	1,011,899
貸倒引当金	△2,828	△3,033
流動資産合計	9,165,948	9,032,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,255,481	2,234,631
機械装置及び運搬具(純額)	2,074,325	1,972,857
土地	6,501,980	6,501,726
建設仮勘定	41,828	51,597
その他(純額)	279,767	260,155
有形固定資産合計	11,153,384	11,020,968
無形固定資産	14,913	14,802
投資その他の資産		
投資有価証券	2,110,462	2,281,081
その他	1,085,378	831,025
貸倒引当金	△79,354	△79,354
投資その他の資産合計	3,116,486	3,032,753
固定資産合計	14,284,783	14,068,523
資産合計	23,450,732	23,101,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,856,997	3,073,861
短期借入金	1,540,000	1,400,000
未払法人税等	703,876	401,735
賞与引当金	278,000	276,000
その他	767,431	918,744
流動負債合計	6,146,305	6,070,340
固定負債		
長期借入金	2,320,000	1,670,000
再評価に係る繰延税金負債	1,707,038	1,707,038
退職給付に係る負債	1,908,990	1,865,572
資産除去債務	13,411	16,550
その他	529,585	489,744
固定負債合計	6,479,026	5,748,906
負債合計	12,625,331	11,819,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	2,939,593	3,585,232
自己株式	△48,930	△256,470
株主資本合計	6,810,235	7,248,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	403,422	503,254
土地再評価差額金	2,901,730	2,901,730
為替換算調整勘定	197,439	161,155
退職給付に係る調整累計額	△191,069	△162,518
その他の包括利益累計額合計	3,311,522	3,403,622
少数株主持分	703,642	629,879
純資産合計	10,825,400	11,281,835
負債純資産合計	23,450,732	23,101,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,443,376	10,166,672
売上原価	6,489,782	6,726,705
売上総利益	2,953,594	3,439,967
販売費及び一般管理費	2,030,471	2,229,516
営業利益	923,122	1,210,450
営業外収益		
受取利息	1,474	507
受取配当金	24,506	29,885
為替差益	81,704	—
貸倒引当金戻入額	207	—
その他	17,361	25,374
営業外収益合計	125,254	55,767
営業外費用		
支払利息	36,211	26,671
為替差損	—	25,060
その他	41,672	52,243
営業外費用合計	77,884	103,975
経常利益	970,492	1,162,242
特別利益		
投資有価証券売却益	53,251	—
特別利益合計	53,251	—
特別損失		
固定資産除却損	11,774	11,471
特別損失合計	11,774	11,471
税金等調整前四半期純利益	1,011,968	1,150,770
法人税、住民税及び事業税	384,947	396,932
法人税等調整額	△42,587	△16,243
法人税等合計	342,360	380,688
少数株主損益調整前四半期純利益	669,608	770,081
少数株主利益又は少数株主損失(△)	37,939	△38,863
四半期純利益	631,668	808,945

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	669,608	770,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,482	99,831
為替換算調整勘定	179,588	△71,183
退職給付に係る調整額	—	28,551
その他の包括利益合計	268,070	57,199
四半期包括利益	937,678	827,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	813,131	901,045
少数株主に係る四半期包括利益	124,546	△73,763

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,011,968	1,150,770
減価償却費	264,405	273,656
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△205	205
退職給付引当金の増減額(△は減少)	68,012	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	909
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,800	△2,000
受取利息及び受取配当金	△25,981	△30,393
支払利息	36,211	26,671
為替差損益(△は益)	△77,478	24,997
固定資産除却損	11,774	10,399
投資有価証券売却損益(△は益)	△53,251	—
売上債権の増減額(△は増加)	△793,069	12,865
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355,374	△187,181
仕入債務の増減額(△は減少)	577,317	284,303
その他	105,935	120,512
小計	800,064	1,685,716
利息及び配当金の受取額	25,981	30,393
利息の支払額	△36,950	△23,228
法人税等の支払額	△352,470	△776,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	436,624	916,237
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△141,102	△191,047
投資有価証券の取得による支出	△8,327	△15,918
投資有価証券の売却による収入	67,275	—
その他	50,907	172,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,246	△34,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	430,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△430,000
長期借入金の返済による支出	△770,000	△790,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18,641	△22,174
自己株式の取得による支出	△973	△207,539
親会社による配当金の支払額	△92,778	△162,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△882,394	△1,182,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,337	△11,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△458,678	△312,185
現金及び現金同等物の期首残高	3,131,079	3,545,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,672,400	3,233,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減
区分			
押出成形セメント製品	4,636,983千円	4,766,727千円	129,744千円
スレート関連	358,288	308,238	△50,049
その他	42,410	38,765	△3,645
合計	5,037,682	5,113,731	76,049

(注) 1 金額は、製造価格によります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、製商品については受注生産によらず、主として見込み生産を行っております。

なお、その他の事業の受注はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
区分						
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	568,432	701,371	594,855	590,725	26,423	△110,645
スレート工事	14,040	8,600	9,440	9,850	△4,600	1,250
耐火被覆等工事	774,059	453,390	706,994	382,036	△67,065	△71,354
その他工事	489,698	459,281	352,294	330,638	△137,403	△128,643
合計	1,846,230	1,622,642	1,663,584	1,313,249	△182,645	△309,392

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減
区分			
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	7,103,916	7,846,660	742,744
(内、アスロック)	(5,741,968)	(6,674,844)	(932,876)
(内、住宅用軽量外壁材)	(1,361,948)	(1,171,815)	(△190,132)
スレート関連	537,988	457,130	△80,857
耐火被覆等	613,285	577,813	△35,472
その他	1,166,685	1,265,852	99,167
計	9,421,874	10,147,456	725,581

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間19,216千円であり、前年同期比2,285千円の減少となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス(株)	2,561,987千円	27.1%	2,421,373千円	23.8%	△140,614千円
伊藤忠建材(株)	973,018	10.3	1,472,969	14.5	499,951

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、上記のとおりです。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。